

Kitakyushu
Action!

**区役所が変われば
北九州市が変わる！**

小倉南区

区を取り巻く課題・背景

自治会の弱体化

自治会加入率の低下 地域活動の担い手不足、高齢化

地域資源を活かしきれていない

磨けば光るネタは豊富だがプロデューサーが不在

スマらく区役所サービス(スマらく)の進展

スマらく後に求められる区役所機能の変化

区役所の役割の見直し
・役割の明確化が必要

区役所が動きだすと
様々な課題が解決する

小倉南区役所改革の大方針(X方針の3本柱)

①持続可能な
新たな地域コミュニティづくり

②地域資源をフル活用して
稼ぐ力を創出

③スマらく後の区役所業務の
模様替えとまちづくり拠点化

①持続可能な
新たな地域コミュニティづくり

- ✓ 新たな地域コミュニティのカたちづくり
- ✓ 新たなまちづくり人材の発掘・育成・キャスティング
- ✓ 市民センターの機能強化

②地域資源をフル活用して稼ぐ力を創出

(例)観光振興

観光課

インバウンド
遠方(広島以东)
若者

×

小倉南区

日帰り
近場(福岡市・下関市・京築)
平日の主婦、週末のファミリー

観光資源の掘り起こし・磨き上げ

ターゲットへの情報発信

- 「合馬とうふ汁」
のご当地グルメ化
- 「合馬メンマ」の開発
- 「こいのぼりリメイク」
商品のブランド化
- 平尾台をモチーフにした
フレグランスの開発
- 肉うどん・ラーメン
「麺's王国」としてPR
- 合馬地区における農泊
の推進
- 古民家カフェ(道原)のPR
etc……
(多数のプロジェクト)



ローカルTV局
(情報・旅番組)
にまちネタを
提供

③スマラク後の区役所業務の 模様替えとまちづくり拠点化

- ✓ 行かなくていい区役所→「地域に飛び込む区役所」へ
- ✓ アウトリーチ・相談業務の強化
- ✓ 地域課題の解決と地域資源の活用のために外部連携を強化

まちづくりプラットフォームの設置

※スマラクの進展により余剰となるスペースの活用

小倉南区役所2.0

アウトリーチ・相談機能の強化

地域コミュニティデザイン

地域課題の解決
地域資源の発掘・活用

市民センター2.0 (地域コミュニティ拠点)

デジタルデバイド解消
相談窓口
防犯・防災

未来共創・まちづくり プラットフォーム(案)

- ビジョン共創
- 地域コミュニティ支援
- 地域課題の解決(実証実験)
- 地域資源の活用(稼ぐ仕組み)

区役所コワーキングスペース設置
NPO事務所等で活用

地域・区民

企業・団体
NPO

クリエイティブ人材
地元出身者
・関係者

①持続可能な 新たな地域コミュニティづくり

(背景)

自治会加入率の低下(2023年:60%)
役員の高齢化(まち協会長平均年齢:75歳)
後継者不足(少子高齢化・定年延長など)
地域社会のニーズの多様化

実情調査

全26校区・地区
キャラバンの実施
(自治会関係者へのヒアリング)



◆ 主な声

- ・「加入メリットがない」と言われる。
- ・「自治会 加入・未加入の不公平感」
(防犯灯・ゴミステーション管理など)
- ・地域として自治会未加入者との関係維持は必要。
- ・自治会を軸としたコミュニティ運営の難しさ
- ・まちづくり団体の連携強化が必要。

新たな地域コミュニティづくり

キックオフ

まちづくり団体(9団体)
合同情報交換会の実施



◆ 主な声

- ・後継者不足もあり、団体の枠を超えた連携が必要。
- ・各団体の活動内容や情報をもっと知りたい。
- ・まちづくり協議会(まち協)を軸とした地域
コミュニティづくりが必要。
- ・企業を巻き込んだ活動が必要。
- ・地域活動の拠点として市民センターの機能強化

【キャラバン及び情報交換会を通じて】

- 「人と人とのつながり」の大事さや「顔が見える関係を作る」ことの重要性
- まちづくり協議会を軸とした「新たな地域コミュニティ」の検討が必要
- 自治会未加入者とのつながりの必要性
- 市民センターの機能強化とエリアマネジメント機能の必要性

認識を共有

地域の声を受けて MISSION

～新しいカタチづくりのベースとして～
地域で顔の見える関係を広げる
全体をゆるくつないで一つの大きな塊にまとめる

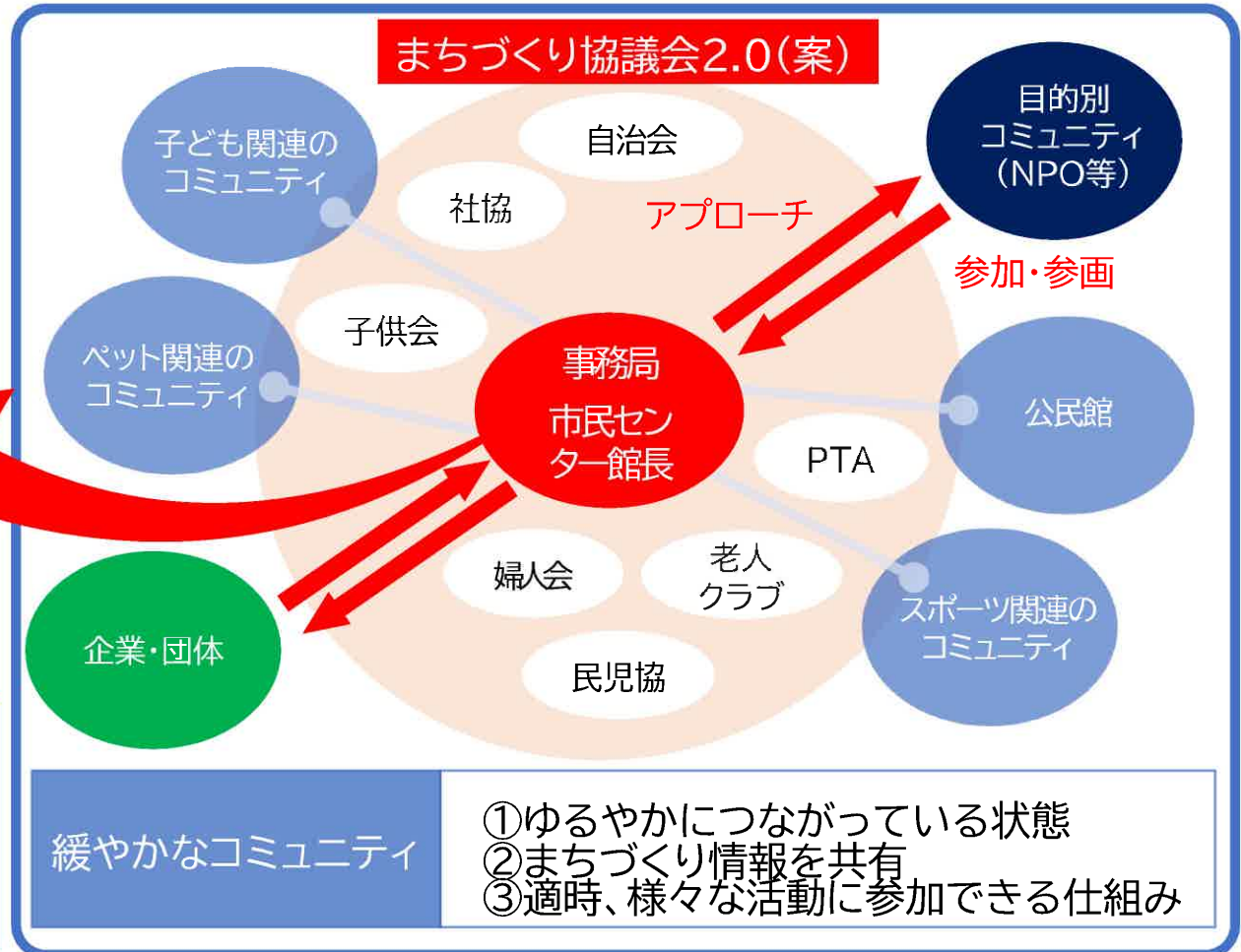
【事務局】

エリアマネジメント機能を付加

- ・現状把握、課題の洗い出し
- ・企画立案・実施
- ・自治会未加入者とのネットワーク形成
- ・新しいまちづくり人材の発掘

区は、
エリアマネージャーの育成と活動を
強力にサポート

まちづくり協議会2.0(案)



26校区、それぞれの特性に応じた
新たな持続可能な地域コミュニティづくり

課題と今後の展開

課 題

- 自治会機能の維持
- 自治会の負担軽減(委託事務の見直し)
- 自治会加入者・未加入者の不公平感解消
(防犯灯・ゴミステーション管理のあり方)
- 関係団体の役割の見直し(統廃合)
- 地域における現状分析
- 市民センター館長の機能強化
- エリアマネジメント機能強化
- 外部連携
- 市民センターの柔軟な運用

校区カルテづくり

地域の魅力、課題、人、組織
つながり、居場所
【進行中】

北九州市コミュニティ
ビジョンとの連動

モデル校区で
緩やか連携の現地調査
【実施中】

他区との協働

地域との勉強会

課題共有、地域分析
【一部実施済】

エリアマネージャー
育成

まちづくり団体 合同情報交換会

【2回目を1月に実施予定】

社会貢献したい
企業・団体の調査および
地域とのマッチング